たします。

せの為に努めていきます。

よろしくお願

(令和2年10月発行)

社会福祉法人 鳥取県厚生事業団

□障がい者支援施設 皆生やまと園

〒683-0002 鳥取県米子市皆生新田 2 丁目 3-1 TEL 0859-36-8155 FAX 0859-36-8156

E-mail:yamato_info@tottori-kousei.jp

- 口生活介護事業所 えがお
- 口共同生活援助事業 ふるさとホーム
- 口共同生活援助事業 あまつホーム

〒683-0322 鳥取県西伯郡南部町阿賀 413-7

TEL 0859-21-2330

かば

ホ

「あまつたけのこホー

を

として運営しておりました

「あまつ 「ふるさと

和 2

年

9

月

日

付

FAX 0859-21-2331

E-mail:egao_info@tottori-kousei.jp

あまつホームを開設しました

と思うほど涼しい気候となりました。 10 月に 感染防止に気を配る毎日が続いており ルス感染症は鳥取県内でもいまだ収 入り、 あ の夏の暑さは 何だっ 新 型コ た 0) 束 \Box か

独立 頂きたいと考えています。 の方の緊急一時的な宿泊 う支援体制の充実を図っているところです。 高齢化に対応でき、 供するグループホ なりました。 3 あまつホーム」「ふるさとホ 事業所は 開設いたしました。 あまつホームに短期 日中サー 地域で生活されている障が 層の連携を図り、 ビス支援型共同生活援助を提 ーム「あまつホーム」とし 余暇活動がより充実する の 障がい者の重度化 場 入所を併設する として利用 1 ム」「え ご利用者 が お て 者 ょ 7

あまつホーム(日中サービス支援型共同生活援助) 〒683-0322

鳥取県西伯郡南部町阿賀 413-7(えがお・ふるさとホーム併設)

あまつわかばホーム 定員10名 入所 あまつたけのこホーム 入所 定員 9名

短期入所 定員 1名

8月7日 夏祭4

毎年皆さんが楽しみにしていらっしゃるえがお夏祭りです! 第一部のヨーヨーすくいや食べ物の屋台で楽しい時間をすご し、第二部のカラオケ大会や盆踊りはおおいに盛り上がりまし t !



ヨーヨー釣れました! おみごと!

盆踊りは「恋するフォーチュンクッキー」♪



えがおほほえみ班日帰り旅行

「ほほえみ班」で日帰り旅行に行ってきました。目的地は奥出雲方面です。「おろ ちループ」などを見た後に、ご当地名物のお土産を買ったり名水「延命水」を汲 んで飲んだりしました。その後日南町の「ゆきんこ村」で好きなメニューを選び 昼食を食べました。



「ゆきんこ村」でみんなでパチリ図 ひと夏のたのしいひとときでした●

やまと農園

今年度やまと園では、野菜作りを始めました。今年でやまと園は皆生に引っ越して3年目になりました。何かみんなでできる楽しいことはないか?そうだ!農業やろう!ということで、野菜作りが始まりました。

大凪班はやまと園の屋上にプランターを用意し、ナス・トマト・キュウリ・ゴーヤを、すまいる班は駐車場横に花壇を作り、ナス・トマト・キュウリ・さつまいもを植えました。

暑い日が続きましたが、毎日欠かさず水やりをし、時には水遊びをしながら楽しく野菜の成長を見守りました。実った野菜を自分で収穫し、笑顔が見られました。













トマトは一口大にカットし、マヨネーズでサラ ダに。キュウリとナスは漬物にしました。

みんな慣れない包丁を上手く使い、時にはキッチンばさみで…と頑張りました。

出来上がったものはお昼ご飯と一緒に。自分達で 作った野菜は格別!いつもは野菜を残しがちな方 もしっかり召し上がれました。

残すはさつまいも!葉っぱもたくさん付いてきました。10月くらいに収穫かな?「スイートポテトがいいか、焼き芋がいいか」 とみなさん楽しみにしておられます。

美味しいお芋がたくさんできますように。

すまいる斑 書 道 あ~と

利用者の方にどんな活動をやりたいか聞いたところ、今回は書道がやりたい!と、言う声が多かったので開催することに決定しました。

みなさんとても集中して書かれていました。墨で書くのはもちろんですが、絵の具を 使っていろんな色で書かれる利用者の方もおられました。



みんなで協力して書いた作品。個性が出てとても良いものが出来ました!

編集後記

外出できない分、園内で

ら過ごしたいと思います。お伝えしたいと思います。コルエンザなどの感染症も心配な季節を迎えます。も心配な季節を迎えます。です。次号ではその様子をです。次号ではその様子を

の方のみで開催する予定

やまと園祭もご利

用

励んでいます。

年よりも多く作品制作に園芸活動に挑戦したり、例

しい日々を過ごしていま今までのような外出が、難今年度はコロナ禍の中、